

令和6年度組織目標

部局名	商工観光労働部
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○ 滋賀の産業を担うひとつづくりの推進</p> <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携のもと、産業ひとつづくり協議会の議論を踏まえて実効性ある施策を構築する。 就労支援機関の支援により、若者、女性、高齢者、障害者、外国人等の多様な人材の活躍を促進する。 </p>
	<p>○ 産業の創出と中小企業の活性化推進</p> <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> スタートアップの発掘・育成など、産学官連携を生かした商工観光労働行政を推進する。 産業用地開発を推進し、開発候補地を決定する。 中長期の新たな視点を検討するとともに、中小企業活性化施策を着実に推進する。 </p>
	<p>○ シガリズムの推進強化 ～「世界とつながる滋賀」を意識した観光誘客～</p> <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> 「シガリズム観光誘客キャンペーン」を中心にシガリズムをさらに推進することで、滋賀の魅力発信に取り組み、国内外から一層の観光誘客を図る。 </p>
	<p>○ CO₂ネットゼロへの取組の推進</p> <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> 新技術による社会実装や事業化に向けた取組を支援など、事業者のCO₂ネットゼロへの取組を推進する。 県で初めてZEB-Ready仕様となる東北部工業技術センターの整備を着実に進める。 </p>

所属名	商工政策課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○ 産学官連携による商工観光労働行政の推進</p> <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携の取組や成果を整理、共有する等により連携の円滑化を図るとともに、更なる連携を促進する(企画調整課と連携) </p>
	<p>○ 大阪・関西万博を契機とした本県産業の活性化</p> <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> 県内中小企業の万博への参画機会の拡大を図るとともに、経済団体を通じた情報発信等により機運を高める。 近未来技術等関連産業の県内における現状やポテンシャル等を基礎調査し、万博を契機とした成長産業の創出につなげる。 </p>
	<p>○ 水環境ビジネスの推進</p> <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> 水環境ビジネスの更なる推進と新たな展開の検討 </p>
	<p>○ 【見直し・効率化】大型モニターによる課内協議の推進</p> <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> 課内協議は原則として大型モニターにより行い、課題の明確化および協議の効率化により、協議時間の短縮を図る。 </p>

所属名	産業立地課
R6年度に特に注力する事項(目標)	○産業用地開発の推進 目標： ・産業用地開発候補地の決定(令和7年2月)
	○産業立地戦略に基づく産業立地の推進 目標： ・設備投資件数 23件以上
	○【見直し・効率化】会議の開催手法の見直し 目標： ・近江金石会の全体交流会を2回開催とし、参加企業の交流機会の増加と行政とのさらなる連携強化を図る。

所属名	中小企業支援課
R6年度に特に注力する事項(目標)	○中小企業活性化施策の着実な推進 目標： ・条例の改正内容を踏まえ、国内外の事例も情報収集しながら、中長期的な視点に立った中小企業活性化施策を研究・検討する。 ・事業承継にかかる支援機関とも連携しながら、北部地域における重点的な取組等を通し、県内事業者の事業承継計画の策定を支援する。 25計画
	○経済社会情勢に応じた制度融資の的確な実施 目標： ・信用保証協会や金融機関、経済団体等と連携しながら、ゼロゼロ融資の返済状況や物価高の影響等を的確に把握し、必要に応じて制度融資の見直しを速やかに実施する。
	○【見直し・効率化】手続の電子化・簡素化の推進 目標： ・ノーコードツール等の活用を検討・推進する業務 3件以上

所属名	イノベーション推進課
R6年度に特に注力する事項(目標)	○産学官連携で取り組むスタートアップの発掘・育成 目標： ・本県産業の将来ビジョンに必要となるインキュベーションの調査・検討に取り組むとともに、成長分野での産学官連携による共同研究開発などの支援にかかる、起業から事業化、産業化まで各段階を通じた切れ目のない体制を構築する。 ・スタートアップ等による近未来技術の実証実験数 8件 ・滋賀テックプランターエントリーチーム法人化件数 16件(累積)
	○将来を見据えた工業技術センターのあり方の検討 目標： ・東北部工業技術センターの施設整備を着実に進めるとともに、テクノファクトリー等県立施設や県内大学のインキュベーション施設等の状況を踏まえ、両工業技術センターのあり方(役割分担・機能強化等)を検討する。
	○陶器産業と陶芸文化の世界的交流拠点となる陶芸の森のあり方検討 目標： ・外部有識者等による懇話会を年3回程度開催し、今後の陶芸の森のあり方を取りまとめ、令和7年度の次期指定管理者選定に活かす。
	○【見直し・効率化】課内協議の効率化による労働時間とCO ₂ の削減 目標： ・課内協議は原則として、時間は30分以内、ペーパーレスで行う。

所属名	労働雇用政策課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○滋賀の産業を担うひとつづくりの推進</p> <p>目標： ・産業ひとつづくり協議会の議論を踏まえた実効性ある施策の検討 多様な人材確保の促進（若者、女性、中高年、外国人等） 人材育成、定着支援（リスクリング等の人材育成、働き方改革等） 高度人材の活躍促進（女性技術者、博士人材等）</p>
	<p>○若者、高齢者、障害者、外国人等の多様な人材の活躍促進（就労支援）</p> <p>目標： ・就労支援機関*の支援による就職者数 3,660人 *しがジョブパーク（若者） シニアジョブステーション滋賀（中高年齢者） 働き・暮らし応援センター（障害者） 外国人材受入サポートセンター（外国人）</p>
	<p>○中小企業の働き方改革の推進</p> <p>目標： ・滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業の新規登録企業数（従業員数100人以下の企業）300社 ・滋賀県中小企業等賃上げ・人材確保環境整備応援事業補助金補助件数 1,000件 ・社会保険労務士会との連携による働き方改革サポート診断実施件数 40件</p>
	<p>○滋賀の産業を支える人材育成に向けた高等技術専門校の再編の具体化</p> <p>目標： ・滋賀県職業能力開発審議会の答申を受け、令和7年度からの再編開始に向け、デジタル人材の育成を意識した高等技術専門校の新たな訓練科の再編検討を行う。</p>
	<p>○【見直し・効率化】電子化の推進</p> <p>目標： ・県労働広報紙「滋賀労働」の電子化 新規メール配信数 1,000件 ・技能検定再交付申請手続きの電子化 処理日数を7日から3日に短縮</p>

所属名	女性活躍推進課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○ジェンダー・ギャップの解消</p> <p>目標： ・滋賀県女性活躍推進企業認証取得（二つ星以上）：160社 ・働く場におけるジェンダー・ギャップ解消に向けた調査研究および具体的施策の検討</p>
	<p>○男女共同参画意識の定着に向けた教育・啓発</p> <p>目標： ・小中高等学校における男女共同参画社会づくりのための副読本・教材活用率：80%</p>
	<p>○【見直し・効率化】更なるペーパーレスの推進</p> <p>目標： ・課内協議は、原則、ペーパーレス化とする。</p>

所属名	観光振興局
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○シガリズム推進強化による一層の誘客促進</p> <p>「シガリズム観光誘客キャンペーン」を中心にシガリズムをさらに推進することで、滋賀の魅力発信に取り組み、国内外から一層の観光誘客を図る。</p> <p>目標： ①延べ観光入込客数：5,410万人（R6.1～12月合計） ②観光消費額：2,139億円（R6.1～12月合計） ③北陸新幹線敦賀駅開業による本県への誘客効果を高めるため、鉄道事業者や近隣府県と連携した周遊企画など、様々な誘客施策に取り組む。</p>
	<p>○滋賀らしい文化観光や高付加価値の観光コンテンツ創出</p> <p>インバウンドを中心に滋賀の魅力を一層訴求するため、新たに文化観光や高付加価値の観光コンテンツの創出に取り組む。</p> <p>目標： ・文化観光ツアー造成数：3件（文スポ部1件含む） ・高付加価値シガリズム体験造成数：5件</p>
	<p>○「世界とつながる滋賀」に向けた訪日外国人の誘客強化</p> <p>重点市場の「東アジア」や開拓市場の「欧米豪」をターゲットにプロモーション等を行うほか、オーストリア、台南市などとの交流を進め、訪日外国人の誘客強化を図る。</p> <p>目標： ・外国人延べ観光入込客数 R6：67万人（R6.1～12月合計）</p>
	<p>○ここ滋賀の拠点機能の最大化</p> <p>「ここ滋賀」という首都圏の拠点があるからこそできる取組の可能性をさらに拡大し、「ここ滋賀」の機能の最大化に取り組んでいく。</p> <p>目標： ・来館者数：年460,000人以上・売上額 年235,000千円以上 ・来館者の評価：「滋賀に観光に行ってみよう」95%以上 ・出品事業者満足度：85%以上</p>
	<p>○【見直し・効率化】局内協議のペーパーレス化</p> <p>目標： ・協議資料のデジタル化推進により、局内協議の完全ペーパーレス化</p>

局内室名	観光振興局 観光企画室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○シガリズム推進強化による一層の誘客促進 「シガリズム観光誘客キャンペーン」を中心にシガリズムをさらに推進することで、滋賀の魅力発信に取り組み、国内外から一層の観光誘客を図る。 目標： ・延べ観光入込客数：5,410万人（R6.1～12月合計） ・観光消費額：2,139億円（R6.1～12月合計）
	○ロケーションオフィス支援作品PRによる滋賀の魅力発信 支援作品の公開等にあわせて効果的にSNS（Facebook、Instagram、X「旧twitter」）や滋賀ロケHPでロケ地情報や撮影エピソード等の情報発信を実施することで、滋賀のファンを増やす。 目標： ・X（旧twitter）のフォロワー数6,500人（前年比約2割増）
	○【見直し・効率化】局内協議時間の短縮 目標： ・協議資料の事前共有により、局内協議時間を原則30分以内に設定

局内室名	観光振興局 シガリズム推進室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○シガリズム観光誘客キャンペーンの推進 目標： ①滋賀ならではの観光コンテンツの開発 64件 ②高付加価値・夜型朝型・文化コンテンツの開発 5件 ③万博バスツアー助成 200件
	○インバウンドの回復に向けた取り組み強化 目標： 高付加価値型文化観光ツアー造成・販売 3ツアー
	○【見直し・効率化】局内協議時間の短縮 目標： ・協議資料の事前共有により、局内協議時間を原則30分以内に設定

局内室名	観光振興局 ビワイチ推進室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○誰もが楽しめるビワイチの推進 目標： ・琵琶湖一周サイクリング体験者数 150千人 ・「ビワイチの子」体験促進事業の参加者数 120人 ・ビワイチゲートウェイ（米原）のレンタサイクル貸出件数 2,600台
	○国内外へのビワイチの更なる魅力発信による誘客の拡大 目標： ・ビワイチ体験者の宿泊割合 30% ・ビワイチゲートウェイ（米原）における外国人のレンタサイクル貸出件数の伸び率 前年比30%増
	○【見直し・効率化】局内協議時間の短縮 目標： ・協議資料の事前共有により、局内協議時間を原則30分以内に設定